

令和 5 年度 学校評価シート

学校名： 新宮高等学校定時制

校長名： 深野 泰宏

目指す学校像・育てたい生徒像（スクール・ポリシー等に基づいて記載する）

- ・新宮、東牟婁地方で唯一の本校定時制での学びを希望し、落ち着いてじっくり学習に取り組む意志を持つ生徒を募集する。
- ・学び直しを含め、少人数での丁寧でわかりやすい授業を展開し、わかる喜びと成功体験によって基礎学力を定着することを目指す。
- ・「知・徳・体」を磨き、人間形成を図るとともに、地域社会に貢献しうる新しい伝統を創造する生徒を育てる。

学校評価の公表方法

- ・各保護者への配布や、本校ホームページに広く公表していく。

現状・進捗度

A	十分に達成している。	(80%以上)
B	概ね達成している。	(60%以上)
C	あまり十分でない。	(40%以上)
D	不十分である。	(40%未満)

自己評価（分析、計画、取組、評価）

番号	計画・取組			評価（〇月〇日現在）			
	重点目標	現状	具体的取組	評価項目と評価指標	進捗度	進捗状況	今後の改善方策
1	就労生徒や小・中学校で不登校経験者、転入再チャレンジの生徒等が在籍している。生徒一人一人の多様なニーズに対応できるよう学習内容、学習指導方法の工夫・改善に取り組む。	B	学習内容、指導方法の工夫や改善を行う。	教材の精選。視聴覚教材等を積極的に活用する。			
			研究授業、公開授業を積極的に実施する。	研究授業、公開授業を計画し確実に実施する。			
			授業規律を確立する。補習授業を実施する。	遅刻、早退、欠席生徒への指導の徹底を図る。			
2	就職に関して、本校生徒を取り巻く環境は依然として厳しい状況にある。学力、社会性、進路意識等を向上させ、卒業後の進路保障が確実なものとなるよう、取り組む。	C	家庭訪問、三者面談、個人面談等を積極的に実施する。	機会があるごとに、家庭訪問、面談を実施する。			
			進路意識向上ガイダンス実施。ハローワークとの連携強化。	ガイダンス、連携等迅速に生徒に情報伝授を行う。			
			事業所訪問を実施する。三修制生徒ゼロ限授業を実施する。	事業所訪問、ゼロ限授業を積極的に実施する。			
3	家庭的に恵まれない生徒が多く、一人一人の繋がり、集団に対する帰属意識も希薄であるため周囲に流されやすい。他者を思いやり、自らの行動を正しく意志決定する能力を育てたい。	B	外部講師を招へいし人権LHR等の充実を図る。	学期ごとに実施し、人権尊重の意識を高める。			
			生活体験発表等を実施し、発表する場を設定する。	学校生活への意欲、自立心、自己肯定感を養う。			
			環境美化と清掃活動の徹底を行う。特別活動の充実を図る。	環境保全に努め、社会的資質を育成する。			
4	生徒が学校行事、特別活動に取り組む時間が少なく、教員が生徒一人一人に向き合う時間も制限される。教育相談等を活用し、一人一人を大切に温かく丁寧な指導を目指す。	C	春・秋の遠足と保護者・教職員参加のレクレーションを充実させる。	行事を通して生徒・教員・保護者の親睦を図る			
			SC・SSWの活用や地域、関係機関との連携強化を図る。	関係機関5との連携を強化し問題解決を図る。			
			生徒が抱える様々な問題を見逃さずきめ細かな指導を行う。	生徒一人一人を大切にす指導を目指す。			

学校関係者評価（〇月〇日実施）

--